

市民号「コウノトリ」でたどる

# 新市10年の旅路

- 平成17年(2005) 4月
  - ・新「豊岡市」誕生
  - ・初代豊岡市長就任
  - ・新「公立豊岡病院」開院
  - ・台風23号(平成16年)災害ごみ搬出完了
  - ・初のコウノトリ自然放鳥
- 9月
  - ・台風23号1周年事業(メモリアルデー)を実施
- 10月
  - ・初の豊岡市議会議員選挙を執行
- 平成18年(2006) 4月
  - ・出石そば伝来300年祭事業を実施(〜12月)
- 7月
  - ・竹野浜にナイター海水浴場とワンワンビーチを開設
- 9月
  - ・豊岡市旗を制定
  - ・のじぎく兵庫国体を開催(〜10月)
  - ・消防本部豊岡消防署出石分署但東駐在所を開設
- 平成19年(2007) 3月
  - ・豊岡市総合計画を策定
- 5月
  - ・国内の自然界で43年ぶりのコウノトリのヒナ誕生、46年ぶりに巣立ち(7月)
- 10月
  - ・「コウノトリ 子育て支援メッセージ」事業を開始



平成18年／6月17日  
皿そば道中到着式(上田市→出石)



平成17年／9月24日  
コウノトリ自然放鳥



平成17年／4月1日  
開庁式でのテープカット



平成19年／12月21日  
市の鳥に「コウノトリ」、両生類に「オオサンショウウオ」、石に「玄武岩」を制定

**コウノトリをシンボルとした  
まちづくり**

平成17年4月1日、兵庫県の北東部に位置する1市5町(豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町)が合併してできた豊岡市。コウノトリをシンボルとし『いのちへの共感』に満ちたまちづくりを進めていきます。

豊岡は、人口規模は小さくても、世界の人々に尊敬され、尊重されるまち「小さな世界都市」を目指しています。コウノトリの野生復帰や山陰海岸ジオパーク、ラムサール条約登録湿地の取組みなどを通じて世界への扉は開かれました。

「この地で世界と出会い、世界と結ばれながら決然と生きていく」―豊岡の挑戦は果敢に、大胆に続きます。



平成20年  
3月  
(2008)

12月

- ・出石のまちなみが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
- ・市の「鳥」「両生類」「石」を制定
- ・5月20日を「豊岡市生きもの共生の日」に制定
- ・豊岡市歌を制定

7月  
5月

- ・ふるさと納税制度「コウノトリ豊岡寄付金」の導入
- ・市全域が防災行政無線エリアに
- ・出石永楽館を復原し、柿落大歌舞伎(8月)や全国芝居小屋会議を開催(10月)

平成21年  
2月  
(2009)

12月  
10月

- ・木屋町小路がオープン
- ・たんたん温泉福寿の湯がオープン
- ・コウノトリ巢立ち記念イベントを開催
- ・市営バス「イナカー」の運行開始
- ・山陰海岸ジオパークが日本ジオパークに認定
- ・市民憲章を制定
- ・市の「木」「花」「魚介」を制定
- ・都市計画税廃止、固定資産税などの超過課税導入
- ・「名探偵コナン」城崎温泉・出石ミステリーツアーの展開(11月)

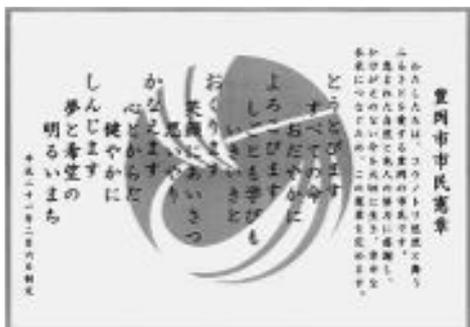
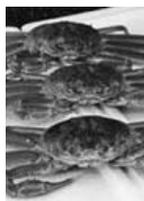
4月

5月

6月

10月

- ・ハチゴロウの戸島湿地がオープン
- ・豊岡市新型インフルエンザ警戒本部を初めて設置
- ・結婚祝いメッセージ・記念品贈呈を開始
- ・副市長を全国から公募、就任(9月)
- ・本庁舎(現豊岡稽古堂・議場)の保存・活用決定
- ・e通勤プロジェクトの社会実験を開始



平成21年/2月6日  
市民憲章、市の木に「やなぎ」、花に「チューリップ」、魚介に「カニ」を制定

平成20年/3月26日  
「生きもの共生の日」の制定。小学校で特別授業



平成21年/10月～  
e通勤プロジェクトの啓発



平成20年/8月1～5日  
永楽館柿落大歌舞伎